

基調講演

生きている喜び

～チャレンジは果てしなく～

講師：柳岡 克子（やなおか よしこ）氏



車いすの元気配達員として全国あちこちで講演活動をさせていただいております。今日は近畿大会ということで遠いところからお越しいただき誠にありがとうございました。

私は「おぎゃー」って生まれなくて仮死状態で生まれました。皆様方のお子様も、もしかしたら仮死状態の方もいらっしゃるかもしれません。手が不自由なんです。今日は肢体不自由の親の会です。もしかしたらご自身のお子様も手が不自由な方もいらっしゃるかもしれません。

でも私はこんな手をしながら幼稚園に行ったんです。そしたら「よしこちゃんはいつもグーしかできない」と言われていじめられそうになりました。そんな時に優しいお友達がいたのです。小さいメモ帳に「グー」「チョキ」「パー」と書いてくれました。このメモ帳をシャッフルしてじゃんけんです。そういうことでお友達と仲良く遊ぶことができるようになりました。さて幼稚園が終わると次は小学校です。ちょうど今頃ですか。教育委員会の人が就学前検査という事で体の不自由なお子さんは支援学校へ行ったほうが良いとか特別支援教室で勉強したほうが良いとかという事で検査をされるのです。よしこちゃんは赤い色右どっち左どっち全部わかりました。

それでしばらく普通の教室で勉強できたかと思っていたら一人でおしっこができないと集団生活は無理だよと言われました。そこで父が県庁で働いていたのだけれどもまだインターネットのない時代探し回ってポータブルトイレというものをつけてくれました。今から50年位前の時にポータブルトイレ、洋式トイレのなかった時代において壁に手すりを取り付けてくれたのです。それで入学式の時に体の不自由なお子さんが入学するという事で担任の先生はよしこちゃんをいじめたり突き飛ばしてはいけませんよと言ってくれました。おかげでクラスのみんなど仲良くすることができました。でも学校に行きたくない時もありました。どんな時かといいますと時間割に体育の授業があるときでした。体育の授業、危ないから、出来ないからという理由でいつも見学をさせられました。よりによって風邪ひきの子の横に座らされました。私風邪ひいていないのに。ルールを覚えて感想文を書いたりそのうち走り回っていたら図書館で「本読んでおけ」と放り込まれて、おかげで本が好きになったのですが、ある時に次の体育の授業はプール入るからよしこちゃんもプール入ろうと言われました。でも私は泳げないので困ったなと思ったら教えてやるからといって体育先生が顔のつけ方、手の動かし方、足のバタバタの仕方を一所懸命教えてくれました。おかげで50mを端から端まで泳ぎ切ることができました。それはとっても嬉しかったです。こんな体でも頑張ったら出来ることがあるんだと思いました。中学校で、仲の良いお友達は一緒に宿題やろうと言ってくれました。これは嬉しかったです。でも自転車に乗れない。クラスの全員が自転車に乗れるのに私一人が自転車に乗れないこれはとっても悲しくていっそう死んでしまったほうが良いんじゃないかと思ひ詰めるくらいの思春期だったんです。どうしてこんな体に生まれたんだろう。誰に何かされていたらその人を恨むことができるけれども生まれつきなので誰を恨むこともできません。悲しくて悲しくてそんな時に音楽というものと出会って楽器は指が不自由なのでできなかったけれどドラムと出会って楽しく吹奏楽部に入れてもらって思いを変えました。死にたいなと思っていた気持ちを、音楽に打ち込むことでまた頑張ろうという気持ちになったんです。高等学校では吹奏楽部はドラムがたくさんついていて足に大太鼓があってこれが動かせなかったの、あきらめたのです。

そしたら歌を歌うクラブがあってそちらのほうに行きました。でも階段が大変で音楽室は4階で友達に階段を引っ張り上げてもらうというとても友達に親切にしてもらいました。友達っていいなありがたいなと思いました。2年生になると修学旅行に行くわけです。信州でした。クラスみんなが放課後柳岡さんについて修学旅行の話し合いをするから集まれと言われてました。私はお土産を何にするんだろうとかそのお土産を買うのにいくらお小遣いを集めるのだろうとかそういう話し合いだと思っていました。そしたら、1班、2班、3班、4班、5班と5つのグループに分かれて、車いすをもって鞆を持ってあげる係、階段を引っ張り上げる係、車いすを押す係、グループの中で決めました。2日目3日目4日目5日目は帰りのグループやでとクラスの全員が私をサポートしてくれたんです。お友達っていいなと思いました。このクラスでよかった先生が言うたわけでもなく誰が頼んだわけでもないけれども自発的に私をクラスの一員と考えてくれてまだ障害者を大事にしましょうとかそんなことを決めるような時代ではなかったけれどもみんな仲良くしようと思ってくれたんです。3年になるちょっと前に進路の説明をする時期がありました。私は理科が大好きでした。それで理科の先生になりたいなと思って勉強していたんだけどふと考えると「おぎゃー」と言わなかったばかりにお医者さんや看護師さんにお世話になりました。

何か医療の分野でお返しができたらいいなと考えるようになりました。それで先生と相談しながら学力と考え合わせながら、体力も必要で看護婦さんみたいに動き回るのはしんどいなと考えるがいろいろ考えていて神戸学院大学の薬学部合格することができたんです。さて、神戸学院の薬学部は御坊から通えません。そこで寮に入りました。アパートで一人暮らしは少し難しいなと言う事で、20人のあすか寮という寮に入りました。部屋が4畳半の個室で台所とお風呂は共用でした。お風呂の掃除当番が、私は不自由で出来ないから19人でローテーションを組んでもらいました。でも台所の掃除は私も出来るから20人でローテーションを組んでもらいました。これはどういう事かと言うと私は不自由ですが、自分で出来る事もあります。だから出来る所は自分で頑張る、出来ない所は力を貸してほしいと言う、自立と言う事なんです。何もかも助けてもらうというわけではない事。皆さん方は少しでも子供さんの能力を伸ばしてあげたいそう思っていると思います。パラリンピックを企画したお医者さんが無くしたものを数えるな、残されたものを伸ばして行こうという言葉が残されていますが、皆さん方もきっと子供の隠れた能力や才能を育ててほしいと思います。大学を卒業して、薬剤師の国家試験に合格して御坊に帰ってきました。すると障害者団体の会長さんが来て、国体があるから水泳競技で県の子選に出ませんかとお誘いがありました。



ところが水泳は50m泳いだ時に拍手してもらったけれど、実は競争するスポーツだったんです。全然前に進みません。手はあまり動けないし、足もあまりバタバタ出来ないから負けました。もう嫌だと思っていた時に体育館でこれをやっていたんです。これは何のラケットですか？卓球ですね。私もその卓球のサークルに入れてもらったんです。体の不自由な人が一生懸命卓球をしている姿を見て感動しました。私は障害者の友達が実はいなかったんです。ずっと健常児と一緒に学校に母が送り迎えで行ったおかげで普通の健常の方が隣に行くと感動するのと同じようなレベルでした。直ぐに障害者卓球の仲間入りをさせてもらったいろんな方がいらっしゃいました。支援学校でずっと頑張ってきていて、そこでクラブ活動で卓球をしていて強くなった人もいました。プロの卓球選手もいました。ゼッケンに会社の名前を付けているだけで会社から給料がもらえるという事で卓球のしすぎで障害者になった人もいま

した。そこまでやるなよという感じでした。夫婦で車いすで世界中の卓球の試合に行く人見ました。普通に元気にしてある時障害になった人もいました。さて私が卓球の試合をしようと思ったら、落としたボールが拾えません。道具で拾おうとすると、コロコロしてしまう。そんな時にはこういうものがあります。これは私の大好きなポテトチップスの筒です。ボール落としますよ。見て下さい。やってみたそうなので1列目の方に渡しました。後ろへ回してもらえますか。

(ビデオ放映)

「きらっといきる」という番組の10分の映像部分だけ見て頂きました。これ30分番組なんです。私は薬剤師として一番尊敬している人がいらっしゃいます。その方は本日主催して下さいました和歌山市

の障害児者父母の会の会長でまた、県の会長であらせませう岩橋秀樹さんです。今日の主催者である岩橋さんは薬剤師なんです。県庁で長年お仕事されてて今はお父さんの後を継がれており、私は大変尊敬しています。さて、この撮影は4日間の密着取材で、すごく一生懸命頑張って撮影しました。ずーっと色んな私の生活をカメラが写すんです。母は、インタビューされて障害のあるお子さんが生まれて育てるのが大変でしたね、とインタビューをされました。皆さん方も父母の会と言う事でどなたからかそういう風に聞かれた事は無いですか。色んな方に大



変ですと聞かれた時どのようにお答えされましたか。大変ですって言っているかもしれません。うちの母はテレビが撮影来てお写ると思ったら嬉しくてポロっと本音を言っちゃった。私は仮死状態で生まれたので0から歩けた事に喜び、学校に行けた事に喜び、働けるようになった事に喜びで、喜び喜び喜びでいっぱい喜びを貰った。100点もらった。普通のお子さんだったら歩いて当たりまえ、学校に行けて当たり前、そんな当たりの事にいちいち喜ばないと思います。私は私のよしこの全ての行動、よしこの生きる姿が私の喜びになったんだ。私は喜びをたくさんもらったんだから幸せです。テレビのディレクターさんにマイクを向けられた時言ったんです。そしたら、この映像です。カット。どうですか。テレビと言うのは障害のあるお母さんが大変でしたと涙の一滴でも落として欲しいらしい。オンエアされたとしてもかわいそうな像を映してちょっと違和感のあるとらえ方をする、これこそ障害者差別だと思う。障害が有っても無くても普通に社会で生活出来て誰でも大変だと思わない社会、これが本来のノーマライゼーション、バリアのない社会なんです。母は思った通りの事を言ったけれど、それは障害者番組にはふさわしくないと考えられたのかもしれない。ディレクターさんの心の中にある障害者と言うイメージが私たちが乗り越えなければいけないものを持っているみたいなイメージだった。普通に暮らしているという風に捉えてほしかったなと思うんです。今私はこの撮影の時に一生懸命練習してシドニーオリンピックの前で大分前ですね。一生懸命練習して足が痛くなりました。さっき卓球のしすぎで障害者になった人の話ししましたが私も足が痛いので痛みどめを飲みました。薬剤師ですから薬は分かる。一番良く効くのを貰いました。お医者さんにリクエストして。胃を壊しました。患者さまには飲みすぎはいけませんよとちゃんと言っているんです。自分は飲みすぎました。胃が痛い。仕方ないです。それで今度は腸に入れました。座薬。座って飲む薬違います。お尻の穴に入れる薬です。腸壊しました。入れすぎたんです。足痛いから。あんまりいい薬剤師ではないです。自分に甘い。ある時トイレに座って下痢だと思って気張ったら便器が真っ赤になりました。出血多量で倒れました。それで救急車で病院に運ばれて発見が遅かったら死んでいたと思います。なんとか命を取り留めて初めてスプ

ーン一杯のお粥を食べたとき美味しかったです。こんなおいしいものはないというくらい。ずっと一ヶ月点滴だけでいました。みなさんはもうぐお腹すいてきたと思います。12時過ぎちゃいました。ちょっと延長でいいですか。いただきますと言って食べていますか。なぜいただくんですか。お魚さん、鳥さん、豚さん、牛さんあなたの命をいただくからいただきます、ごめんなさいと言うのもある。ではごちそうさまとってますか。なぜごちそうさまなのでしょう。御馳走様の馳という漢字も走という漢字も走るという意味があります。御飯が食卓に上がってくるまでに農家の方が稲を育ててスーパーの方がレジで打ってくれてお母さんが炊いてくれて多くの方が走り回ってくれたおかげで御飯となるんです。だから、走り回ってくれた人にありがとうという気持ちで様を付けて御馳走様というわけです。その一口のおかゆを食べた時本当にうれしかった。私は、あちこちで講演をさせてもらっておりますが、この辺に目に見えない天の銀行があると思っています。目に見えない天の銀行は、目に見える銀行だったら給与とかお金が入ります。目に見えない天の銀行は人に親切にするとか困っている人がいたら助けるとか、いつも笑顔で優しい言葉を使って仕事や勉強に勤め、自分がしてほしいと思う事を他人にしてあげる。先生や目上の人を尊び、周りの人と仲良くし人の良い所を見つけて悪口を言わない、時間や約束を守る、嘘をつかない、このような人として基本的な事を出来る人は天の銀行に貯金が出来ると。天の銀行にたくさん貯金出来る人はいつか喜びとなって幸せとなっていつか下ろす事が出来ると私は思っているんです。廊下にゴミが落ちていたらどうしますか。蹴飛ばす人。ゴミやゴミやゴミを入れるぞと言うて入れる人。黙ってゴミ箱に入れる人。私は最後の人が一番たくさん天の銀行に貯金が出来ると思っています。人が見ている見ていないに関わらずいいと思う事を率先して出来るこういう人が天の銀行に貯金できるんです。

さて、薬の飲みすぎで腸から出血したと思いきんでいたんですけど実は潰瘍性大腸炎という難病だった事が分かりました。その後、入退院を繰り返して私はとっても大変な思いをしました。でも助かった命なのだからなにか恩返しをしたいと思って御坊市の身体障害者福祉協会会長と言う役を受けさせていただきました。カラオケ大会を企画しました。そして私たちは音楽が鳴っても聞こえない歌いたくても歌えないという障害者が、聴覚障害者の方たちからクレームが来ました。私は聞こ



えなければ聞こえる歌いたければ歌える耳を持っていたんです。実は突発性難聴で右側の耳には補聴器を付けています。右側はとっても聞こえにくくなってしまったんです。でもその当時は全然平気だったんです。ですから聴覚障害者の気持はわからなかった。それで手品をやってもらおうと思いました。マジックショーです。そしてまたクレームが来ました。私たちはハートがスピードに変わっても見えない。ハンカチから鳩が飛び出て来てもわからないと言われました。視覚障害者です。私は目が見えるから目が見えない人の気持がわからなかった。でもそういう事を体験しながら今までは足が不自由だという事で自分が不幸だと思った事もあります。もっと大変な思いをしながら頑張っている人と出会う事によって皆も頑張っているんだから私も頑張らなくっちゃと思いました。それで会長職を全うするため色々頑張りました。宴会をしました。そうしたら同席をしている方が水分を調整しているので2杯目のビールを注がせてくれなかった。旅行にも行きました。車椅子で乗る事が出来なかったりで乗ることのできるバスを探すのが大変でした。運動会をしました。心臓にペースメーカーを付けている方、今は愛サポート運動と言う事でこういうマークを付けたりして目に見えない障害、潰瘍性大腸炎も難病

です。目に見えない、外から分からない障害という事で和歌山県も取り組んでいます。ビデオ上映をしたら日本の映画は字幕スーパーが付いていませんでした。洋画には付いていたんです。このように大変色んな事を乗り越えてきました。それで私も会長を10年させて頂いてやっとのんびりしたいなと思っていたら、今度はお腹に袋を付けたオストメイトと言う人たちの患者会が有りました。私は潰瘍性大腸炎になってドクターヘリで御坊から和歌山市の医大病院まで飛ばされて大腸を全部取ってしまいました。それで人工肛門の手術をして付けてもらいました。そしてオストメイトになったんです。その会

には大腸がんとか膀胱がんの方がいらっしゃいました。非常に高齢者が多かったです。私はたまたまパソコンが出来るという事で公益社団法人日本オストミー協会の和歌山県の支部長に就任しました。それで命は大切なんだという事をつくづく感じました。人が生きていくというのは多くの人に助けられて皆支え合う事によって生かされているんだ、自分ひとりで生きていくんじゃないんだという事を感じました。障害があっても何か誰かの役に立ちたい、そんな気持ちで立たせてもらっているんです。この世に無駄なものはないんだ。命とは生を受けた意味が必ずあるという事で全てのものに感謝をし、自分が不幸だと思ったら不幸が寄ってくる。幸せだと思ったら幸せが寄ってくる。本当の幸せって自分が幸せだと思う事で幸せになるんです。お金持ちに生まれたり幸せですか。財産をたくさん残したばかりに仲良かった兄弟が遺産相続でもめている話しをよく聞くじゃないですか。もっと美人に、頭良ければ、もっとスポーツ出来れば良かった。皆さま方お子様の障害の事を思った時に元気なお子さんを見た時にうらやましいと思う事もあるかもしれません。でも子供がいないものにとったら障害が有ろうが無かろうが子供さんを授かったという事はうらやましいなと思うこともあるかもしれません。



私はまだ独身なので子供はいません。子供がいるという事はそれだけたくさん喜びをもらえるという意味で価値はあるんです。かけがえのない命なんです。あなたのもとを選んで生まれてきてくれた宝くじに当たるより難しい珍しい確率であなたを親として選んで下さったんです。その子どもに感謝の出来る親になって頂きたいと思うんです。当たり前だと思っている日々の生活でも、停電になった時には電気のありがたさがつくづく分かります。水道をひねって水が出るのが当たり前だと思っても水が止まったらたちまち困ってしまいます。そんな事を思ったら普段の生活でも少しでも自分にとって笑顔になれる事を見つけてほしいと思うのです。今から皆さん2人組になってほしいのでお隣の方と手を繋いでもらえますか。

ではルールを説明したいと思います。
右側の手を挙げて下さい。
右側の方は左側の方に良く目を見つめあって下さい。
後で交代します。



ではルールを説明したいと思います。

右側の手を挙げて下さい。

右側の方は左側の方に良く目を見つめあって下さい。

後で交代します。

20秒間時間を計りますから、右側の方は始めに左側の方の良い所を口に出して行って下さい。

20秒たったら左側の方が右側の方の良い所を口に出して行ってほしいです。

相手の良い所1つ言えた人。2つ言えた人。3つ言えた人。4つ言えた人。5つ言えた人。6つ言えた人。7つ言えた人。8つ言えた人。9つ言えた人。ありますか。10以上言えた人。ありました。10以上という事でちょっと立って頂けますか。皆さん拍手。はい。ありがとうございます。人の良い所を見つける練習をして頂きました。



皆さん方は大人になるにつれて段々

と人の悪い所ばかり目について、つい怒ってしまいます。でも良い所を言った方も嬉しかったし言われた方も幸せな気持ちになったと思います。これからは少しでも喜び喜び喜びを見つけて生きていってほしいです。喜びを見つけるのもちょっと練習して頂いて、せっかく今日20秒練習したんで家へ帰ったらただいまって、何してたんと言うのではなく、ありがとうと言ってふとその人の良いところをふっと口に出して言うようにしてほしいなと思います。今和歌山市の方にはこのようなコミュニケーションカード、言葉がちゃんと使えない人用にこういうカードが有ります。カードで意思を伝えてゆけるんですね。4通り日本語、英語、韓国語、中国語かな。こういう風に色々頼みたい事を絵を差し出したら何をしてほしいか伝えられるんです。

後ろの方はペンでも書けるようになっていて数字が有ったり、これはあいうえおの表になっています。こういうカードに自分の書きたい文字を書きます。これは外国人にも使えるし、言葉がちゃんと伝えにくい人用のカードを和歌山市で作っているんです。インターネットで原本が手に入るんです。

私は薬剤師ですが薬局をクビになり、どうしようかなと思っていた時に、色々な障害の人がいる、色々な相談事とか受けるのでこれはちょっと勉強しないといけないと思って専門学校の通信教育を受けて社会福祉士という資格を取りました。それで今年の春、独立型社会福祉士という、成年後見の勉強も始めました。今日昼からも御出演の先生のお話しにもあるかもしれません。また私もファイナンシャルプランナーという資格を持っています。第一分科会でファイナンシャルプランナーの方がお話しをして下さるという事ですから、午前中は盛りだくさんに楽しく笑って頂きましたので、昼からはしっかり勉強して和歌山に来てたくさん勉強になったよって言って帰って頂けたらと思います。せっかくなのでアンケートも書いて頂けたらと思います。みなさんお腹もすいてきたと思いますので、最後に「あいさつ

あいうえお」というフレーズを紹介してお別れしたいと思います。あいさつの「あ」はあかるく、「い」はいつでも、「さ」は先に、「つ」は続ける、あいさつ。あいうえおの「あ」はありがとう、「い」はいただきます、「う」はうれしい、「え」は笑顔、そして「お」はおかげさまと言う事で色々な物のおかげだよと感謝をする事を忘れないで生きて



いって欲しいなと思います。今日は本当にありがとうございました。